セパレートカスタムフィットスピーカー KFC-VS17 取付説明書　PEAK POWER 180W　Upgrade Speaker

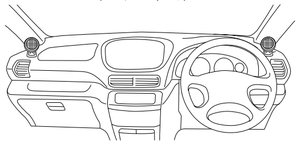
ツィーター付属品

●本機にはツィーター用に、下記の部品が付属されていますのでご確認ください。

① タッピングねじ（φ3×10㎜）……×4
② タッピングねじ（φ3×16㎜）……×4
③ スピードナット（φ3）……×4
④ 取付金具……×2
⑤ 両面テープ……×2
⑥ 両面テープ……×2
⑦ ネットワーク付コード……×2
⑧ サウンドレベルアジャスター……×2

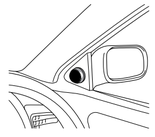
ツィーター取付例

1. ダッシュボードへの取り付け（アングルマウント）



※運転席側のツィーターは助手席方向へ向け、助手席側のツィーターは運転席方向へ向けて、ツィーターを配置します。

2. ドアミラー部への取り付け（サーフェースマウント）



※車種によってはドアミラー部へ取り付け出来ない場合もあります。
※アングルアマウントでの取り付けは行わないでください。

ツィーター取付方法

■ 作業をする前に
- 穴加工前に、化粧箱の型紙（内フラップにあります。）で取付場所を確認してください。
- 雑音防止のため、車輌側の電装系ライン、高電流ライン、その他の雑音源から離して配線してください。
- 短絡防止のため、可動部品、シャープエッジ等から離して配線してください。
- 配線が終了するまで、車の始動およびセンターユニットの電源を入れないでください。

■ 取付手順
1. ツィーター取付例を参考にして、取付場所を決めます。
2. 型紙を用いてフェルトペン等で抜穴のマークを付けます。
3. マークに沿って、スピーカーコード用穴とねじ穴をあけます。
4. スピーカー組み込みは、右図を参照してください。

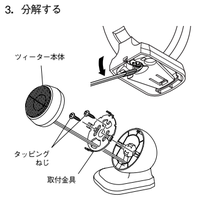
⚠注意
- スピーカーがガラスなどに接触しないように取り付けてください。
- スピーカー取付場所を確認する際に、ドア等の開閉による接触がないか、また、エアーバック等の安全装置の妨げにならないか確認してください。
- 加工作業の際、ガソリンタンク・ホースなどに傷を付けないようにご注意ください。
- 水がかかったり、熱風が当たる場所には取り付けないでください。
- 運転操作の邪魔になったり、視界の妨げとなるような場所には取り付けないでください。

■ 取付方法.1　サーフェースマウント（ツィーターの角度調整ができません。）

1. 取付場所を決める

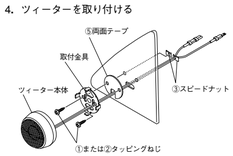
2. 穴を開ける

3. 分解する



- ツィーター本体部分を手で持ち、力強く前へ引っぱります。
- 組み立ては、逆の手順で行ってください。

4. ツィーターを取り付ける



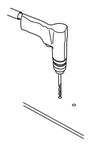
- 取付金具にコードを通して取り付けます。

■ 取付方法２　アングルマウント（ツィーターの角度調整が可能です。）

1. 取付場所を決める

型紙の矢印を音の出たい方向に合わせます。

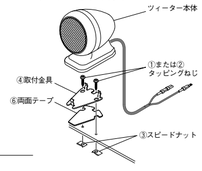
2. 穴を開ける



3. 取り付け前の確認

チューブがこの位置になるようにコードを固定してください

4. ツィーターを取り付ける

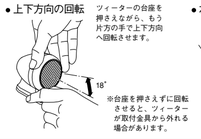


⚠注意
- 必ず指定された取付部品を使用してください。（ガタツキや脱落の原因となる恐れがあります。）

角度の調整

- 本製品のツィーターは取り付け後でも音楽などを楽しむために最適な角度に調整することができます。図のような方法で、ゆっくりと向きを変えて左右の音のバランスが丁度良くなる角度にします。

- 上下方向の回転



- 左右方向の回転

⚠注意
- 無理な角度に調整しないでください。
- 調整の際にはツィーターの正面やスピーカーコードを持って調整しないでください。
- 頻繁に角度調整を行ったり、無理な力で動かすと、調整された角度を保てなくなる場合があります。
- 調整は必ず車を安全な場所に停車させてから行ってください。

⚠警告
- 直射日光下ではツィーターのケースが高温になります。やけどの危険がありますので十分に車室内を冷却してから調整を行ってください。

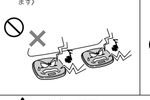
■ 使用上のご注意

⚠警告

オーディオの操作は、停車させてから
カーオーディオ等は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
（運転しながら行うと、気をとられて交通事故の原因となります）

大音量は禁止
音行中は、車外の音が聞こえなくなるような大音量には、しないでください。
（周りのできごとに気づかず、交通事故の原因となります）

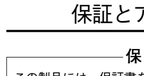
異状な音を出し続けない
スピーカーを長時間、音がわれたり歪んだ状態で使わないでください。
（発熱し、火災の原因となることがあります）



裏ぶた、カバーを開けない改造しない
（火災その他の事故の原因となります）
- 点検・修理は、販売店、ケンウッドサービスセンターまたは営業所へご相談ください。
- お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。

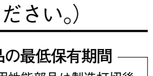
異常かな？……すぐ使用中止
次のような異常が起きた場合、すぐに使用を中止してください。
- 音が出ない
- 火がかった
- 金属や紙などの異物が入った
- 煙が出る
- 変な音や匂いがする

（そのまま使用を続けると火災、その他の事故の原因となります）
電源スイッチを切り、安全を確かめてから、販売店、ケンウッドサービスセンター、営業所へご相談ください。



⚠注意

車以外には使わない
駆動は車に設置して使うように設計されたものです。他の用途では使用しないでください。
（取り付け不備などにより、落下してけがをするおそれがあります）



保証とアフターサービス（よくお読みください。）

保　証
この製品には、保証書を添付していません。
保証は、お買い上げ日を証明できるものの提示が必要です。領収書などを大切に保管してください。

保証期間
保証期間は、お買い上げ日より1年です。

修理を依頼されるときは（持込修理）
異常のあるときは、ご使用を中止し、ケンウッドのサービスセンターへお問い合わせください。

保証期間内でも「安全上の注意事項」を守らない使用での故障および破損の場合には、原則として有料にさせていただきます。

補修用性能部品の最低保有期間
カースピーカーの補修用性能部品は製造打切後、最低6年保有しています。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は
修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、営業所へお問い合わせください。

お買い上げ店名

年　月　日

KENWOOD
株式会社 ケンウッド
〒192-8525　東京都八王子市石川町2967-3
●商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
カスタマーサポートセンター　電話(0570)010-114（ナビダイヤル）、携帯電話・PHSでのご利用は電話(045)933-5133
〒226-8525　横浜市緑区白山1-16-2

KENWOOD

セパレートカスタムフィットスピーカー
KFC-VS17
取付説明書

株式会社 ケンウッド　Kenwood Corporation
B54-1229-00 (FHP)

お買い上げいただきありがとうございます。
●取り付けにあたっては、この取付説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行なってください。

■ 必要工具
⊕ドライバー、⊖ドライバー、クリップドライバー、プライヤー、ニッパー、電動ドリル
カッターナイフ、ビニールテープ、ハサミ、フェルトペン、レンチ（TONE社MODEL 800Mなど）

安全上のご注意

ここに示す事がらは、安全に関する重要なものです。必ず守ってください。
絵表示は次の意味を表しています。

してはいけないことを表しています。（禁止マーク）
しなければならないことを表しています。（指示マーク）

■ 取付上のご注意

⚠警告
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

取付説明書に従って作業を
取り付け、配線は製品の取扱説明書または取付説明書の指定通りに行ってください。
（従わないと、急ブレーキ時などにはずれて人に ぶつかったり、または怪電、火災などのおそれがあります）

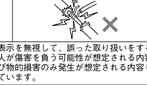
作業時は、バッテリーの配線をはずす
取り付け、配線などを行う前に、必ずバッテリーのマイナス端子からコードをはずしてください。
（ショート事故*が起こり、火災の原因となります）

工具は寸法が合ったものを
ボルト・ナットを締めつけるときは、寸法の合った工具を使用して確実に行ってください。販売ショップのあるものは規定トルクで締め付けてください。
（ボルト・ナットをいためたり、外れるおそれがあります）

保護用テープを巻く
車輌の金属部品くも通るコードには保護用テープを巻いてください。金属の断面が鋭くなっていて、コードを傷めます。
（コードが傷つくと、感電やショート事故*による火災などのおそれがあります）

タンクや電気配線を傷つけない
車体に穴を開けて取り付ける場合、ガソリンタンク、パイプ類、他の電気配線などを絶対に傷つけないようにしてください。
（火災の原因となります）

電源の被覆を切った配線はしない
電源コードの被覆を途中で切って他の機器の電源を取ることは、絶対におやめください。
（ショート事故*が起こり、火災の原因となります）



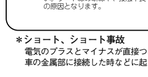
裏ぶた、カバーを開けない改造しない
（火災その他の事故の原因となります）
- 点検・修理は、販売店、ケンウッドサービスセンターまたは営業所へご相談ください。
- お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。

ヒューズは規定のものを
ヒューズが切れたときは、配線したコードがショート*していないことを確認後、必ずヒューズボックスに表示された規定容量（アンペア数）のものと交換してください。
（規定以外のものを使うと、火災の原因となります）

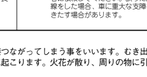
ヒューズの交換は、車の取扱説明書を参照してください。

⚠注意
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみ発生が想定される内容を示しています。

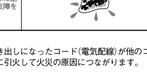
コードを引っ張らない
コネクターを外すときは、リード線を引っ張らずにコネクター本体をもってロックを外してください。リード線の断線や、接触不良の原因となります。



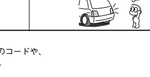
取付・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のために必ずお買い上げの販売店または専門の業者に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。



取り付けには、専用の付属品を
製品の取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、傷害・破損の原因となります。



取り付け後、車の点検を
製品の取り付けが終了したら、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを必ず確認してください。
（配線ミスなどで車の機能が損われていると、交通事故の原因となります）



＊ショート、ショート事故
電気のプラスとマイナスが直接つながってしまう事をいいます。むき出しになったコード（電気配線）や他のコードや、車の金属部に接続した時などに起こります。火花が散り、周りの物に引火して火災の原因につながります。

セパレートカスタムフィットスピーカー KFC-VS17 取付説明書　PEAK POWER 180W　Upgrade Speaker

ウーファー付属品

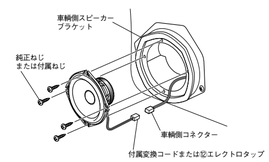
●本機にはウーファー用に、下記の部品が付属されていますのでご確認ください。

① タッピングねじ（φ6×20㎜）……×8
② タッピングねじ（φ5×20㎜）……×8
③ 小ねじ（M5×16㎜）……×8
④ タッピングねじ（φ4×16㎜）……×8
⑤ スペーサー（ゴム）…×2
⑥ ブラケット（樹脂）…×2
⑦ パッキン（薄）……×2
⑧ パッキン（厚）……×2
⑨ 変換コード（日産、三菱車用）……×2
⑩ 変換コード（日産車用）……×2
⑪ 変換コード（トヨタ、三菱車用）…×2
⑫ エレクトロタップ …×4
⑬ 接続コード ……×2

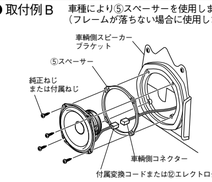
ウーファー取付例

※車輌側コネクターに接続した変換コードへのスピーカーの接続方法は"ウーファー接続方法"を参照してください。

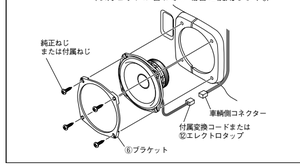
● 取付例 A



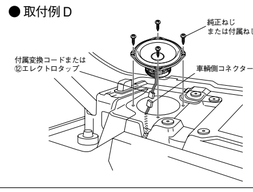
● 取付例 B　車種により⑤スペーサーを使用します。（フレームが落ちない場合に使用します。）



● 取付例 C　車種により⑥ブラケットを使用します。（取付ピッチが合わない場合に使用します。）



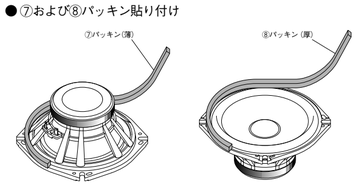
● 取付例 D



ウーファー取付準備

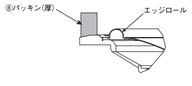
※防振・防滴のために⑦および⑧パッキンを貼り付けます。

● ⑦および⑧パッキン貼り付け



必ず付属のパッキンをご使用ください。パッキンを使用せずに取り付けると車室内に水が漏れる場合があります。

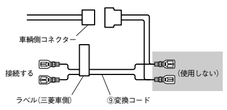
付属のパッキンをご使用する場合、ウーファーのエッジロールにつかないようご注意ください。



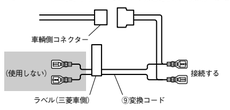
ウーファー接続方法

● ⑨日産・三菱車用変換コードの使用方法

1. 三菱車の場合
ラベル（三菱車側）表示側に接続します。

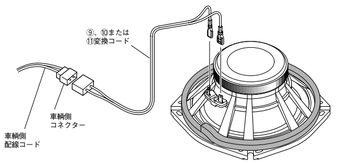


2. 日産（その他）車の場合
ラベル（三菱車側）表示の反対側に接続します。

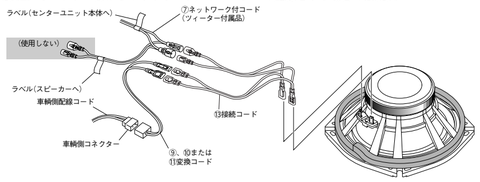


● 付属変換コードの使用例

■接続例1. センターユニットからネットワーク／ツィーターの配線をする場合の接続例

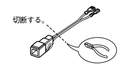


■接続例2. ウーファー部からネットワーク／ツィーターの配線をする場合の接続例

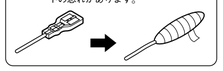


● コネクターが合わない場合（⑫エレクトロタップの使用例）

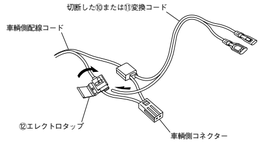
1. 付属の変換コードを切断します。



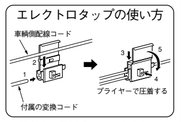
使わない端子、または、切断したコードの先端部分はビニールテープ等で巻いて絶縁します。絶縁しないとショートの恐れがあります。



2. 付属の⑫エレクトロタップで接続します。

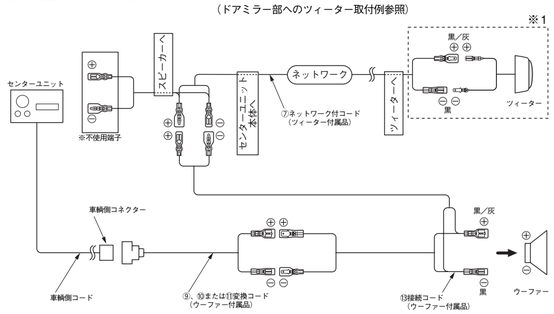


エレクトロタップの使い方

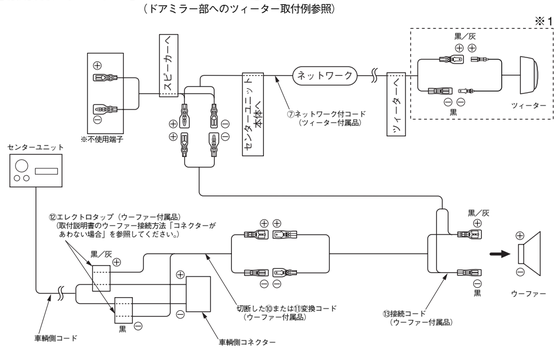


※⊕⊖各々極性を合せて接続します。
付属変換コードの灰色ライン側　⊖極性

■ 接続例2. ウーファー部からネットワーク／ツィーターの配線をする場合。
（ドアミラー部へのツィーター取付例参照）

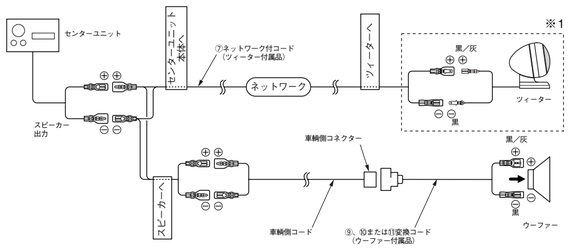


■ 接続例3. ウーファーをエレクトロタップで配線をする場合。
（ドアミラー部へのツィーター取付例参照）

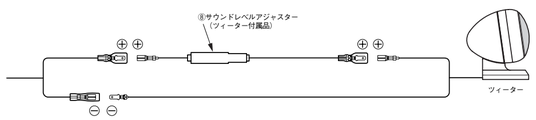


接続のしかた

■ 接続例1. センターユニットからネットワーク／ツィーターの配線をする場合。
（ダッシュボードへのツィーター取付例参照）



※1
ツィーターにサウンドレベルアジャスターを取り付ける場合。
ツィーターの配線にサウンドレベルアジャスターを使用することにより、高音を抑えることができます。車の形状や取り付け位置により、ツィーターの音が強いと感じる時には接続してください。

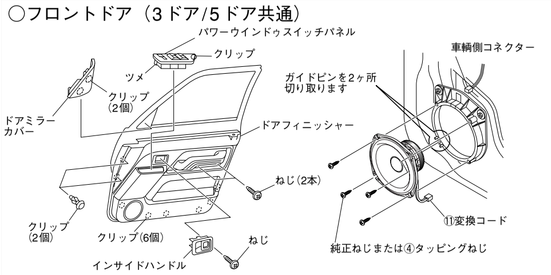


⚠注意
- ネットワークは必ず付属のものを使用してください。使用しない場合は破損の恐れがあります。
- 不使用端子はショート事故防止のため絶縁テープをまいて保護してください。
- 接続は、接続例を参照して⊕・⊖の極性に注意して接続してください。

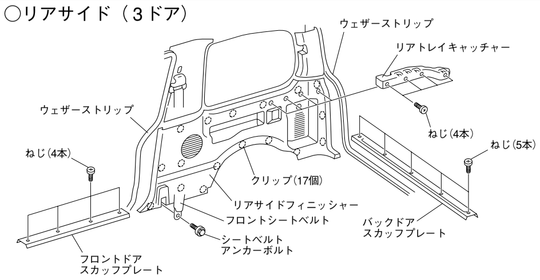
※ここにある取付例は、基本的に運転席側を表しています。また、車輌側コネクターに接続した変換コードへのスピーカーの接続方法は“ウーファー接続方法”を参照してください。

●ランドクルーザープラド（H8/5～H14/10）取付例

○フロントドア（3ドア/5ドア共通）

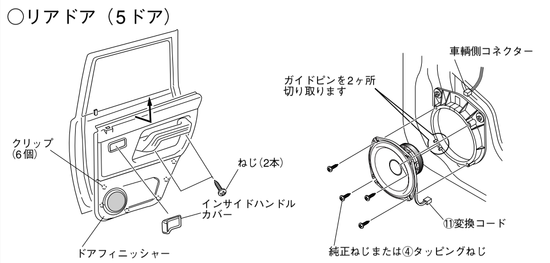


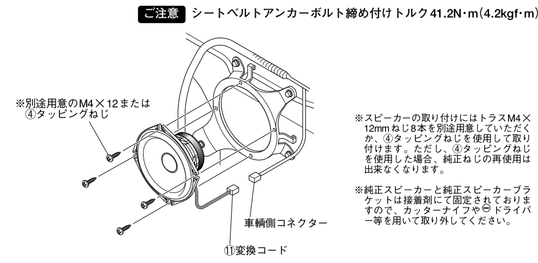
○リアサイド（3ドア）



ご注意 シートベルトアンカーボルト締め付けトルク41.2N･m（4.2kgf･m）

○リアドア（5ドア）





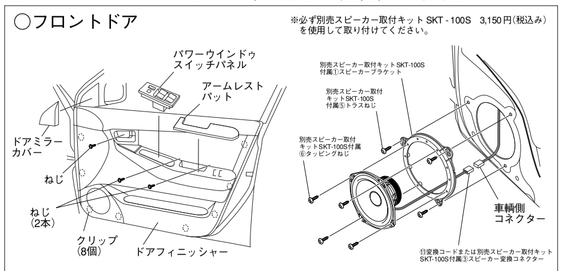
※スピーカーの取り付けにはトラスM4×12mmねじ8本を別途用意していただくか、④タッピングねじを使用して取り付けます。ただし、④タッピングねじを使用した場合、純正ねじの再使用は出来なくなります。

※純正スピーカーと純正スピーカーブラケットは接着剤にて固定されておりますので、カッターナイフや⊖ドライバー等を用いて取り外してください。

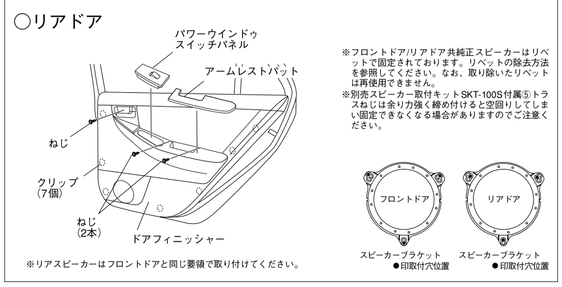
●カローラフィールダー（H12/8～現在）取付例

○フロントドア

※必ず別売スピーカー取付キット SKT - 100S 3,150円(税込み)を使用して取り付けてください。



○リアドア



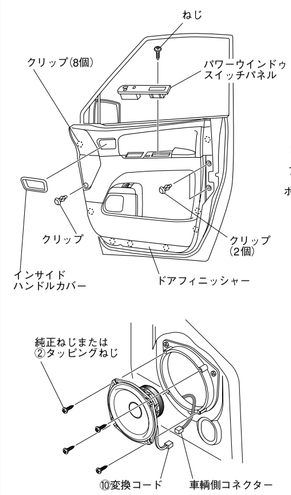
※フロントドア/リアドア共純正スピーカーはリベットで固定されております。リベットの除去方法を参照してください。なお、取り除いたリベットは再使用できません。

※別売スピーカー取付キットSKT-100S付属⑤トラスねじは余り力強く締め付けると空回りしてしまい固定できなくなる場合がありますのでご注意ください。

※リアスピーカーはフロントドアと同じ要領で取り付けてください。

●エルグランド（H9/5～H14/5）取付例

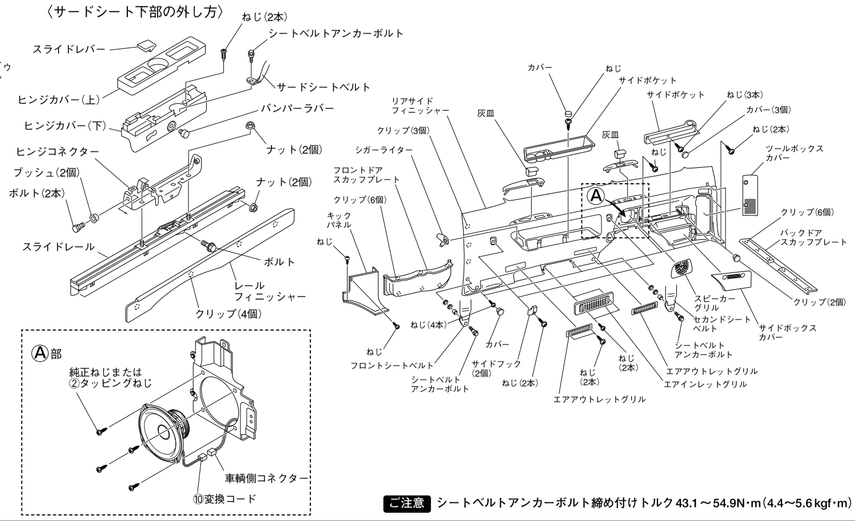
○フロントドア



○リアサイド

※サードシートを取り外してからリアサイドフィニッシャーを外します。

〈サードシート下部の外し方〉

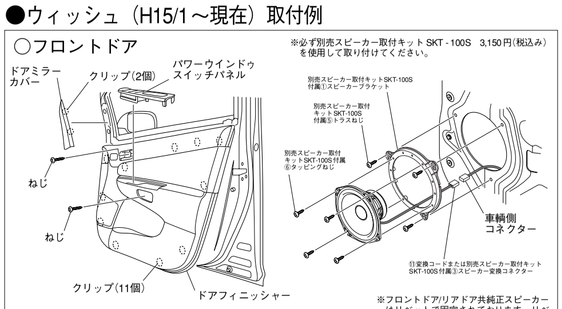


ご注意 シートベルトアンカーボルト締め付けトルク43.1～54.9N･m（4.4～5.6kgf･m）

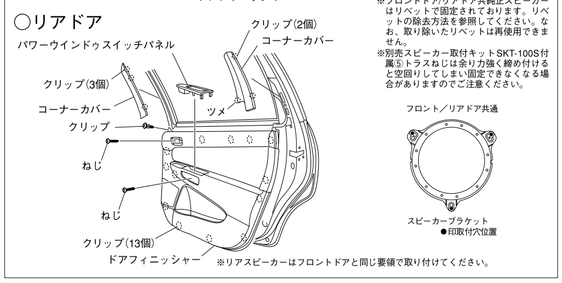
●ウィッシュ（H15/1～現在）取付例

○フロントドア

※必ず別売スピーカー取付キット SKT - 100S 3,150円(税込み)を使用して取り付けてください。



○リアドア



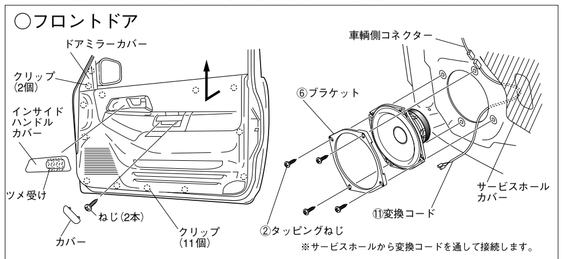
※フロントドア/リアドア共純正スピーカーはリベットで固定されております。リベットの除去方法を参照してください。なお、取り除いたリベットは再使用できません。

※別売スピーカー取付キットSKT-100S付属⑤トラスねじは余り力強く締め付けると空回りしてしまい固定できなくなる場合がありますのでご注意ください。

※リアスピーカーはフロントドアと同じ要領で取り付けてください。

●パジェロイオ（3ドア）（H10/6～現在）取付例

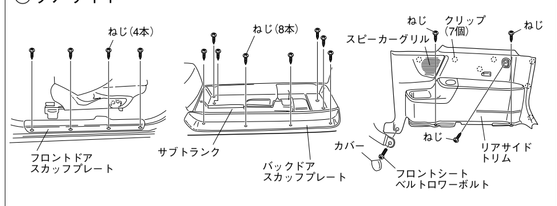
○フロントドア



※サービスホールから変換コードを通して接続します。

○リアサイド

※リアシートクッションを前方に持ち上げて引抜き取り外します。

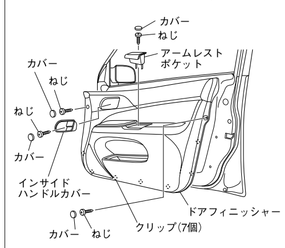


※リアスピーカーはフロントドアと同じ要領で取り付けてください。

ご注意 フロントシートベルトロワーボルト締め付けトルク43.1N･m（4.4kgf･m）

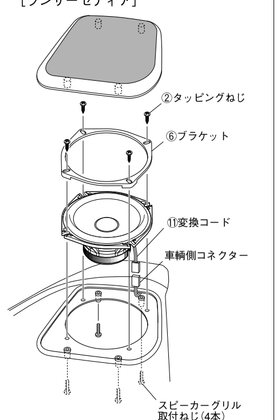
●ランサーセディア（H12/5～H15/2）取付例
●ランサーセディアワゴン（H12/11～H15/2）取付例

○フロントドア
［ランサーセディア・ランサーセディアワゴン］



※純正17cmスピーカー付車に限り取付可。

○リアトレイ
［ランサーセディア］



※サービスホールから変換コードを通して接続します。

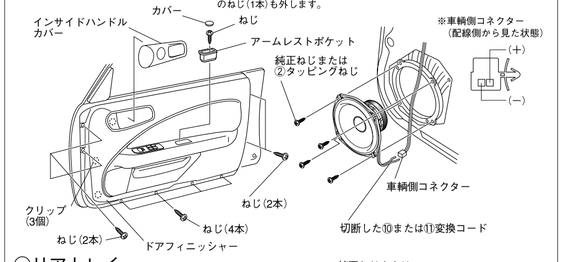
※リアトレイ裏面からスピーカーグリルを取り外しスピーカーを交換します。

●シルビア（H11/1～H14/8）取付例

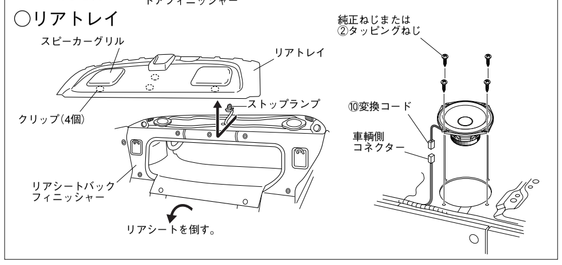
○フロントドア

※車輌側配線コードと切断した変換コードを⑫エレクトロタップで接続します。（ウーファー接続方法のコネクターが合わない場合を参照してください。）

※助手席のドアを取り外す時はこの他にドアグリップ（はめ込み）を外し、内部のねじ（1本）も外します。



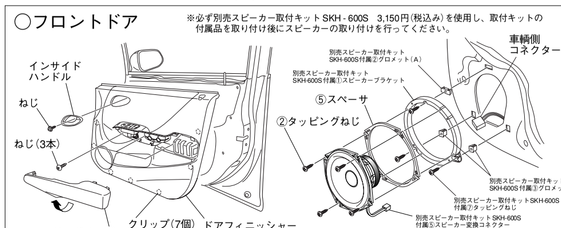
○リアトレイ



●フィット（H16/6～現在）取付例

○フロントドア

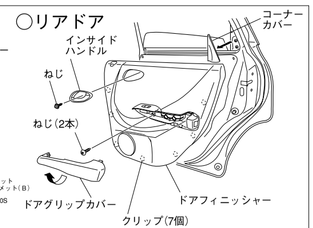
※必ず別売スピーカー取付キット SKH - 600S 3,150円(税込み)を使用し、取付キットの付属品を取り付け後にスピーカーの取り付けを行ってください。



※純正スピーカーの取り外し方はザッツ取付例を参照してください。

※スピーカーは端子を下向きに取り付けてください。

○リアドア

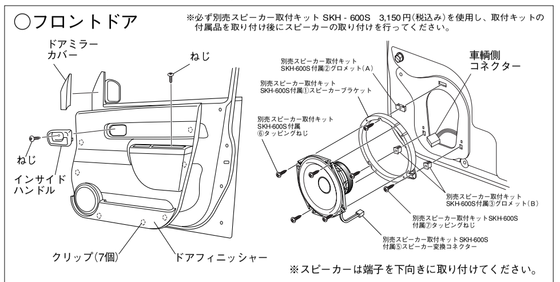


※リアスピーカーはフロントドアと同じ要領で取り付けてください。

●ザッツ（H14/2～現在）取付例

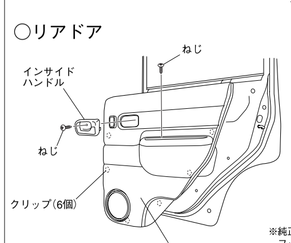
○フロントドア

※必ず別売スピーカー取付キット SKH - 600S 3,150円(税込み)を使用し、取付キットの付属品を取り付け後にスピーカーの取り付けを行ってください。

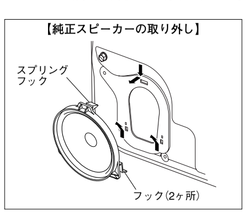


※スピーカーは端子を下向きに取り付けてください。

○リアドア



【純正スピーカーの取り外し】



※純正スピーカーの取り外しは、⊖ドライバーで上部スプリングフック部を押して手前に外し、下部2ヶ所のフックを持ち上げるように外してください。

※リアスピーカーはフロントドアと同じ要領で取り付けてください。

■リベットの除去方法

●純正スピーカーがリベットで固定されている場合

リベットのロック部（中心部）にドリルで穴をあける要領で、こじりながら取り除き、リベット本体も取り除きます。

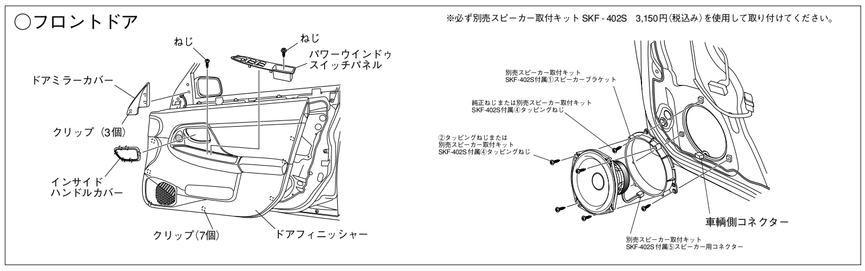
※リベットの破片も拾って取り除きます。

※取り除いたリベットは、再使用出来なくなります。

●インプレッサ（4/5ドア）（H12/8～現在）取付例

○フロントドア

※必ず別売スピーカー取付キット SKF - 402S 3,150円(税込み)を使用して取り付けてください。

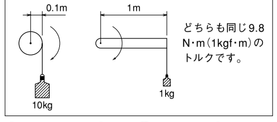


■締め付けトルクについて

ものを ねじる力 のことをトルクと呼んでいます。一本の野球のバットを、一人はグリップ、もう一人は先端の太い部分というように二人で握り、互いに逆方向へねじる競争をすると、太いほうを握っている人の方が有利ですね。このように同じ力を使っても、半径の大きなものを回したほうが中心にかかる ねじれの力 つまりトルクは大きくなります。

【ねじの締め付けトルク】；大人が通常のドライバーを使って普通の力でねじ締めするときのトルクが、大体 1～2N･m（0.1～0.2kgf･m）です。

【ボルトの締め付けトルク】；必要工具に例としてあげたMODEL 800Mの工具をつかい、25kgの力で締める時のトルクが大体 49N･m（5kgf･m）です。（この工具のハンドルのグリップ部までの長さは20cm－0.2m－です）。



どちらも同じ9.8N･m（1kgf･m）のトルクです。